





# 良質多収な米作りのポイント

## 初期生育を順調に

### 当面の稻作管理

条状に散布する。

除草剤散布後五日経過したら、天候を見ながら間断排水をし健康な分けつを育てる

(六月中旬迄は気温が低いので寒い日の落水は良くない)

無茶な中干し(土用干し)よりも間断排水の方が良い場合が多い。

四、追肥について

初期生育が良くないといふことで追肥をするのは極めて危険で特

別の場合を除いて中間的追肥は出来るだ



## 昭和四十四年度農地被買収者

### 国庫債券の担保貸付について

農地被買収者国庫債券を担保として、次の要領により貸付が行われますので、借入希望の方は、役場産業課に申込で下さい。

取扱方法公庫支店の直接扱い・貸付条件

①借受人の資格は国債の記名者とする

②資金の用途は事業資金に限る

保付人の方は、役場産業課に申込で下さい。

△貸付限度 一〇万円とし、

△貸付方法 国債の償還日を一人一回に限る

△償還方法 国債の償還日を年六分

△貸付利率 年六分

△担保国債を徴する△借入金計算方式は六月十五日以降

期限未到来の賦札枚数金額合計×八一%とし、一〇万円を超えるときは、一〇万円までとする。

△借入金

△支払日とし、年賦償還

△償還方法 国債の償還日を年六分

△担保国債を徴する△借入金

△支払日とし、年賦償還

△償還方法 国債の償還日を年六分

## 加入手続は簡単です

### 中小企業退職金共済制度加入へのおすすめ

※法制定の主旨

1. 中小企業に働く従業員の福利の向上

2. 中小企業の労働力の確保のための雇用対策

3. 中小企業の振興を図る対策

4. 法律の特色

5. 法律によって定められた国庫から補助金が出るうえ

6. 毎月わづかの掛金で将来多額の退職金が用意でき、掛け金は全額損金(必要経費)

7. 月々の掛け金は、近くの金融機関に払い込むだけで資金

8. 每月わづかの掛金で将来多額の退職金が用意でき、掛け金は全額損金(必要経費)

9. 法律によって定められた国庫から補助金が出るうえ

10. 每月わづかの掛け金で将来多額の退職金が用意でき、掛け金は全額損金(必要経費)

11. 法律によって定められた国庫から補助金が出るうえ

12. 法律によって定められた国庫から補助金が出るうえ

13. 法律によって定められた国庫から補助金が出るうえ

14. 法律によって定められた国庫から補助金が出るうえ

15. 法律によって定められた国庫から補助金が出るうえ

16. 法律によって定められた国庫から補助金が出るうえ

## 語句の意味

### 順世、人生の無常に順う

(死)

微雨、かすかの雨

空濛、けむるようにはぼし

芒種、六月頃

寂寥、さびしさ

萬朶、萬山の樹

杜鵑、ほととぎす

大意

左一が死亡したことときいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に来て見れば、深い緑の山々に

い左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

## 語句の意味

### 順世、人生の無常に順う

(死)

微雨、かすかの雨

空濛、けむるようにはぼし

芒種、六月頃

寂寥、さびしさ

萬朶、萬山の樹

杜鵑、ほととぎす

大意

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

## 語句の意味

### 順世、人生の無常に順う

(死)

微雨、かすかの雨

空濛、けむるようにはぼし

芒種、六月頃

寂寥、さびしさ

萬朶、萬山の樹

杜鵑、ほととぎす

大意

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

左一が死んだことをきいて悲しみ詩である。なつかしい左一君よ。どうして私を残してどこへ行つてしまつたのか。さばしさに堪えないので見れば、深い緑の山々に

## 語句の意味

### 順世、人生の無常に順う

(死)

微雨、かすかの雨

空濛、けむるようにはぼし

芒種、六月頃